

1. 件名：「伊方発電所の地震等に係る新基準適合性審査（標準応答スペクトルの規制への取り入れに係る変更）に関する事業者ヒアリング（4）」

2. 日時：令和4年8月29日（月）10時00分～11時10分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁 原子力規制部 地震・津波審査部門

岩田安全管理調査官、三井上席安全審査官、佐藤主任安全

審査官、中村主任安全審査官、馬場係員、松末技術参与

四国電力株式会社：土木建築部 地盤耐震グループリーダー 他9名※

東京支社 技術課 副長

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・資料1 伊方発電所 3号炉 震源を特定せず策定する地震動（標準応答スペクトル）を踏まえた基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価（特定重大事故等対処施設を除く）
- ・資料2 伊方発電所 3号炉 日向灘および南西諸島海溝周辺の地震活動の長期評価（第二版）を踏まえた伊方発電所の地震動・津波評価への影響について

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	お願いいたします。
0:00:02	四国電力の井坂です。
0:00:05	本日はヒアリングのお時間をいただきまして、ありがとうございます。
0:00:09	本日説明内容は2件ありまして、資料1の方で、標準応答スペクトルを踏まえた基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価。
0:00:19	資料2の方で、
0:00:20	日向灘の長期評価第二版を踏まえた、伊方発電所の地震動津波評価への影響について説明させていただきます。それでは、早速ですが、資料1の方から、
0:00:31	担当の方から説明させていただきます。よろしく申し上げます。
0:00:42	四国電力の大野です。それでは資料1としまして、伊方発電所3号炉、震源を特定せず策定する地震動標準応答スペクトルを踏まえた基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価。
0:00:55	特定重大事故等対象施設を除くにつきまして説明させていただきます。
0:01:00	4月15日の審査会合にて、地震動の評価について概ねだと、その評価をいただきましたので、引き続き、地盤安定性の評価について説明いたします。
0:01:10	また、同会合で、地盤安定性の評価は、特重以外と特重に分けて実施することも同意いただいておりますので、今回特重以外について説明させていただきます。
0:01:22	また、先般ですね、京大の実験の等につきまして、我々よりも先行して、標準応答スペクトルの取り組みに係る地盤安定性についての審査がなされていることも拝見してございます。
0:01:33	その中でですね、弊社としましても、京大の実験棟と同様ですね、地震動以外の条件は変更はございませんで変更点は新たな地震動S s 3-3を追加したものであるということを冒頭申し上げておきまして、説明を始めさせていただきます。
0:01:50	それでは3ページをお願いします。
0:01:55	まず、評価方針についてです。次のページをお願いします。
0:02:01	本日の説明資料では、新規制基準適合性審査にて許可いただいた特重以外の施設、具体的には、平成27年7月15日の許可の再稼働施設、
0:02:12	平成29年10月4日許可の、非常用ガスタービン発電機、令和2年9月16日許可の乾式貯蔵施設について説明させていただきます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:23	これらにつきまして丸書きの通り、耐震重要施設、常設重大事故等対象施設、使用済み燃料乾式貯蔵施設の基礎地盤及び周辺斜面のS s 3-3、震源を特定せず策定する地震動標準応答スペクトルに対する安定性評価について、
0:02:39	設置許可基準規則第三条、四条、38条、39条に適合していることを、審査ガイドに準拠し、確認してきましたので、以下、ご説明申し上げます。
0:02:51	次のページをお願いします。
0:02:55	まず、評価対象施設についてです。ホームページには、耐震重要施設の配置図を示しております。
0:03:02	次のページをお願いします。
0:03:06	続きまして常設重大事故等対象施設の配置図を示しております。
0:03:11	次のページをお願いします。
0:03:14	最後に、使用済み燃料乾式貯蔵施設、当社で言う、乾式貯蔵建屋の配置図を示しております。次のページをお願いします。
0:03:27	このページに、5から7ページの施設を重ねがいております。ですのでこれらの施設が、本日の説明の評価対象施設となります。次のページをお願いします。
0:03:39	続きまして基準地震動の概要について説明させていただきます。次のページをお願いします。
0:03:46	当社では標準応答スペクトルより作成した地震動S s 3-3と呼んでおります。
0:03:52	このページではS s 3-3の応答スペクトル及び時刻歴は形を示してございます。
0:04:00	S s 3-3については、標準応答スペクトルに基づく指向性を有さない地震動として策定されておりますので、S s 1と同様、
0:04:09	評価断面の方位による方位補正は行わないこととし、水平動及び鉛直動の位相反転を考慮いたします。
0:04:16	次のページをお願いします。
0:04:19	が、基準地震動の一覧にS s 3-3を追加いたしました。一番下に赤字で記載してございます。
0:04:27	次のページをお願いします。
0:04:31	続きまして時刻歴は系の一覧です。
0:04:34	次のページをお願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:39	この下の方に赤字で記載しております通り S s 3-3 を追加してごさいます。
0:04:44	また黄色箱開けについてなのですが、冒頭申し上げました通り、今回の変更は、地震動の追加のみですので、基礎地盤周辺斜面の安定性評価に用いた、
0:04:55	解析用物性値、動画方法、評価対象断面及び解析用要素分割図、こちらの構造物モデルを含みますは、既許可、既認可と同様としてごさいます。
0:05:07	次のページお願いします。
0:05:11	まず、解析用物性値について説明させていただきます。次のページお願いします。
0:05:16	こちら、解析用物性値の表となっておりますが、先ほど説明いたしました通り、既往のものと変更ございません。
0:05:23	次のページお願いします。
0:05:27	まず、基礎地盤の安定性評価について説明申し上げていきます。次のページお願いします。
0:05:35	評価方法についてですが、こちらにつきましても先ほど説明した通り、既往のものと変更ございません。次のページお願いします。
0:05:46	まず、解析用要素分割図について説明させていただきます。次のページお願いします。
0:05:53	影響要素分割図につきましても、最新の許認可から変更ございません。
0:05:59	具体的には原子炉建屋の南北断面にある X 断面及び緊急時対策所の南北断面である A 断面につきましては、平成 27 年 3 月 13 日審査会合資料に示しております。
0:06:13	許可のモデルから変更ございません。
0:06:16	次のページお願いします。
0:06:21	同じく自由タンクの南北断面であります D 断面につきましても、同会合資料に示しております既許可モデルから変更ございません。
0:06:31	乾式貯蔵建屋の南北断面の N 断面、
0:06:34	東西断面の横断面、
0:06:36	斜め断面の P 断面につきましては、最新の認可モデル、すなわち令和 3 年 6 月 10 日、設計及び工事計画認可申請書に示したモデルを用いておりまして、既認可から変更ございません。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:50	なお、NをB断面のうち、B断面のみを例示しておりますが、S s 3-3における滑り安全率他の評価が最も厳しくなったものを例示してございます。
0:07:01	次のページをお願いします。
0:07:04	ここから評価結果について示しており、
0:07:07	示していきます。まず、基礎地盤の滑りについてです。次のページをお願いします。
0:07:13	こちら、X断面、原子炉建屋についてです。
0:07:17	左下の二つ目の※書きの通り、類似した滑り面形状については、最安全率が最も小さいものについて掲載しておりますので、X断面については5滑り面を示しております。
0:07:29	また、基準地震動の列に示しております、政府の符号ですが、左側が水平、右側が鉛直を示しております。
0:07:38	依頼した1個目の※書きの通り、4種類の位相反転を考慮しております。
0:07:42	このため、この断面では、滑り面番号3番の安全率2.0が最小となりましたが、評価基準値1.5を上回ることを確認しました。
0:07:53	次のページをお願いします。
0:07:57	断面、緊急時対策所につきましても、最小滑り安全率が2.4であり、評価基準値1.5を上回ることを確認いたしました。
0:08:06	次のページをお願いします。
0:08:09	以下、同様に、D断面というランクは安全率2.5、次のページをお願いします。
0:08:16	2段目につきましては3.8。
0:08:19	次のページをお願いします。
0:08:21	横断面については3.2。
0:08:24	次のページをお願いします。B断面については、3.1といずれも評価基準値1.5を上回ることを確認してございます。
0:08:34	次のページをお願いします。
0:08:37	続きまして基礎、基礎の支持力について説明申し上げます。
0:08:41	次のページをお願いします。
0:08:44	議事録につきましても、6断面すべてにおいて、最大接地圧が評価基準値を下回っていることから、荘司伴は十分な支持力を有しているということを確認しました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:56	次のページをお願いします。
0:08:59	続きまして、基礎底面の傾斜についての説明です。次のページをお願いします。
0:09:06	弊社につきましても、6断面すべてにおいて、評価基準値の目安である2000分の1を下回っていることから、安全機能に支障を与えるものではないということを確認いたしました。
0:09:17	次のページをお願いいたします。
0:09:21	続きまして、地盤の変状及び地殻変動による影響評価について説明申し上げます。
0:09:27	次のページをお願いします。
0:09:30	こちらにつきましては、基準地震動が増えたことによる影響はございませんが、
0:09:35	評価対象施設は、新鮮かつ堅硬な岩盤、塩基性変換に支持されていることから、不等沈下、液状化、揺すり込み沈下等の影響が生じることはないという評価を維持してございます。
0:09:46	次のページをお願いします。
0:09:49	企画変動による営業評価につきましても、地震動による最大傾斜に地殻変動による最大傾斜を重ねても、
0:09:58	評価基準値の目安2000分の1を下回っていることを確認しております。
0:10:03	次のページをお願いします。
0:10:06	はい。ここまでが基礎地盤の評価についてでしたが、続きまして周辺斜面の安定性評価について説明申し上げます。次のページをお願いします。
0:10:16	評価方法につきましては、基礎地盤と同様、既往のものから変更ございません。次のページをお願いします。
0:10:24	まず解析用要素分割図について説明申し上げます。次のページをお願いします。
0:10:30	原子炉建屋の南北断面のX断面、A排水ピットの斜めの断面のC断面につきましても、基礎地盤と同様に、平成27年3月13日審査会合資料に示す式強化モデルから変更ございません。
0:10:45	次のページをお願いします。
0:10:49	乾式貯蔵建屋の横断面、P断面につきましても、既認可の、失礼、基礎地盤の評価と同様、既認可のモデルから変更してございません。
0:11:00	次のページをお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:04	周辺斜面の評価結果についてお示しします。次のページをお願いします。
0:11:10	以下、基礎地盤と同様なので、
0:11:13	はい、同様なのですが、X断面につきましては、最小滑り安全率が1.8、次のページをお願いします。
0:11:22	C断面については、
0:11:24	3.1、
0:11:26	次のページをお願いします。
0:11:29	横断面については、2.3。
0:11:32	次のページをお願いします。
0:11:35	P断面については、1.6、
0:11:37	と、いずれも評価基準値1.2、上回ることを確認いたしました。
0:11:43	次のページをお願いします。
0:11:45	最後にまとめについて説明します。次のページをお願いします。
0:11:51	はい。冒頭の繰り返しですが、耐震重要施設、常設重大事故等対象施設、使用済み燃料乾式貯蔵施設の基礎地盤及び周辺斜面のS s 3-3、
0:12:01	震源を特定せず策定する地震動標準応答スペクトルに対する安定性評価について、
0:12:06	設置許可基準規則三条、四条、38条39条に適合していることを審査ガイドに準拠し、確認しました。
0:12:13	次のページをお願いします。
0:12:17	ここまでは46ページまでは、新たに追加したS s 3-3に特化して、説明してきましたが、ここからは、お手元、参考資料としまして、S s 3-3のみならず、
0:12:30	すべてのS sに関する評価について記載してございます。
0:12:34	つまり、今後補正させていただく申請書に記載するような数字内容となっております。
0:12:41	詳細な結果につきましては、次のページ以降の別紙(1)に示しております。
0:12:46	49ページをお願いします。
0:12:55	このページ以降、すべてのページの説明は割愛させていただきますが、例えばこのページですと、基準地震動の欄に、図3-3以外の波が出てきているのかわかるかと思います。
0:13:06	以下、61ページまで同様の内容としてございます。
0:13:11	62ページをお願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:25	本ページ以降、いつもおつけしている参考資料をお示ししております。詳しい説明は割愛しますが、必要に応じてご確認ください。
0:13:33	①番として、岩盤分類の考え方、②番として、強度のばらつきに関する検討、③として、滑り面設定の考え方を示しております。
0:13:43	④につきましては、要素ごとの局所安全係数を示しておりますが、S s 3-3の最も厳しい条件についての内容としております。
0:13:52	以上で私からの説明は終わります。
0:13:57	はい、資料の2も引き続きお願いできますか。
0:14:04	はい。それでは説明者変わらしまして四国電力の塩田です。資料2、日向灘及び南西諸島海溝周辺の地震活動の状況課題は、5メートル。
0:14:15	伊方発電所の地震動津波評価の影響についてご説明を差し上げます。
0:14:18	1ページをお願いします。
0:14:22	こちらが本日の説明の目次になります。1ポツのところそれぞれ改定のポイント、A B Cと三つに分けてご説明するとともに、
0:14:32	それらによる伊方発電所の影響をご説明差し上げます。
0:14:37	参考資料も三つつけております適宜、必要に応じてご説明しながらご参照いただければと思います。
0:14:44	まず、3ページお願いします。
0:14:50	こちらが超強化第2版の改定のポイントになります。
0:14:54	一番上の文章ですが伊方発電所におけるプレート間地震及び海洋触れてない地震の地震動、津波評価にあたっては、内閣府の南海トラフの巨大地震モデル検討会、
0:15:04	いや、地震本部の日向灘及び南西諸島海溝周辺の地震活動の長期評価、こちら、本州大一般と言いますが、これらを参照して評価を行っております。
0:15:16	このたび地震本部より、この第2版が令和4年3月25日に公表されておりました、第1版からの改定のポイントは下記の三つの通りとされております。
0:15:28	一つ目が、
0:15:29	最新の知見を踏まえた地震の再評価ということで、具体的にはM8程度の巨大地震の発生可能性を評価しております。
0:15:39	また二つ目、評価対象領域実施の際支援として、地震活動に関する知見や最新の調査結果等を反映しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:47	具体的なものとして下にちょっと一部持って、図をずっと表を持ってきておりますが左側が将来発生する地震の評価ということで、各評価対象自身の将来の、
0:16:00	発生する地震の規模を評価しているとともに、右側の図、評価対象領域ということで、
0:16:06	評価対象領域の区分であったり、あとは、どういう地震が起こるかというのの見直しを行っております。三つ目が不確実性法を踏まえた評価ということで、
0:16:19	浅井地震はプレート間地震、海洋プレート内地震を区別せずに評価ということで右側の図で、日向灘南西諸島周辺与那国島周辺というところに、
0:16:29	赤い枠が書かれておりますがこの赤い枠のところは浅い地震としてプレート間地震海洋プレート内地震を区別せずに評価するというふうに、評価をされております。
0:16:41	4 ページをお願いします。
0:16:46	以降、今、図ザクッとご説明しました各ポイントに沿って伊方発電所の影響というのをご説明を差し上げます。
0:16:54	5 ページをお願いします。
0:16:59	まず一つ目、最新の知見を踏まえた地震の再評価とし、第1版から第2版にかけて評価対象地震の再編を行い、日向灘の巨大地震。
0:17:08	南西諸島周辺及び与那国島周辺の巨大地震。
0:17:12	1771年矢山地震津波タイプ等の地震について、最新の地下知見を踏まえて将来発生する地震というのを評価をしております。
0:17:21	この時日向灘域について、第1版では、日向灘の一回り小さい地震としてM7.6程度の規模の地震が想定されていたところ、第2版では日向灘の巨大地震として、
0:17:34	M8程度の規模の巨大地震が発生する可能性というのが示されております。
0:17:39	ここで、
0:17:40	南西諸島周辺及び与那国島周辺の巨大地震や、1771年矢山地震津波タイプの地震は敷地までの距離が遠いため、効くか評価に影響をおよぼしません。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:52	津波については南西諸島周辺でMw9の波源を設定した評価というのを既往評価で実施しております。こちらについては参考1に示しておりますので適宜ご参照ください。
0:18:04	また、敷地が属する安芸灘、伊予灘豊後水道域、伊方PPSという右側の図で含まれ方が含まれている領域ですけれども、
0:18:14	こちらにつきまして、こちらで発生する沈み込んだプレート内のやや深い地震というのは、第1版から地震規模の評価に変更がございませんので、こちらも既許可評価に影響をおよぼしません。
0:18:27	これを踏まえまして以下では集体の巨大地震について第2版を踏まえた伊方発電所への影響というのを確認をいたしました。
0:18:36	6ページをお願いします。
0:18:41	まず、地震動評価への影響です。
0:18:44	伊方発電所のプレート間地震の地震動評価、既許可評価では内閣検討会による強震断層モデル、陸側ケースを基本モデルとした評価を実施しております。
0:18:55	下の図、左側に強震断層モデル、こっち、右側にその断層パラメータを示しておりますが、
0:19:03	この9回評価の中で、断層全体としてはMw9.0。
0:19:08	日向灘域ではMw8.4の地震規模を想定するとともに、
0:19:13	さらなる不確かさの考慮として、敷地直下のプレート境界に強震動生成域SMGAを想定した保守的な評価を実施しておりますので、第2版を踏まえた地震動評価への影響はございません。
0:19:26	右側の断層パラメータのところは州ができるMw8.4ということところを、赤枠で囲っております。
0:19:34	7ページをお願いします。
0:19:38	次に津波評価への影響になります。
0:19:42	及川発電所のプレート間地震の津波評価、既許可評価も同様に内閣府検討会によるモデルですが津波波源モデル、こちらケース5で四国沖から九州沖に大隅力を設定したモデルというのを基本モデルにした評価を実施しております。
0:19:58	下の図左側が津波断層モデルで右側に断層パラメータを示しております。
0:20:04	その中で断層全体としてはMw9.1、日向灘域でMw8.6程度の地震規模を想定するとともに、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:12	日向灘に多くの滑り域を配分しておりますので、こちら第2版を踏まえた津波評価への影響はございません。
0:20:19	ちなみに断層パラメーターについては、右側の表とあと文章でも示しておりますが、日浦でいき単独の地震規模というのは内閣検討会では明記をされておられません。
0:20:32	左側の図の通り滑り量の配分には濃淡があって日向灘中花田には多くの大隅力が配分されておりますが、仮に全域の地震モーメント、
0:20:42	に日向灘域の面積比を乗じた場合、地震モーメントはAと記載で1.1×10 ⁻²² 乗となって、金森197のMwM0関係市からMw8.6程度と、となるというところを補足しております。
0:21:00	8ページをお願いします。
0:21:05	次に、評価対象領域自身の再編についてご説明いたします。
0:21:10	9ページをお願いします。
0:21:15	評価対象領域地震の再編といたしまして、第1版から第2版にかけて、地震活動等の最新の調査結果を反映して、評価対象領域の形状が一部見直しされております。
0:21:27	それが下の図、左側が第1版の評価対象領域、右側が第2版の評価対象領域です。
0:21:34	場所自体が大きく変更になっているわけではございませんが、評価対象領域の形状が若干変更となっております。
0:21:44	また次のページに、集金田周辺について抜粋したものにはなりますが、過去に発生した主な地震というのが再編されておまして、例えば日向灘域の中では、
0:21:55	第1版においては、海洋プレート内地震の可能性があるので評価対象外とされていた1769年の地震。
0:22:03	であったりそういったものが3地震、新たに整理をされております。
0:22:08	なおその他の地震は第一波の整理と同様になります。
0:22:12	既許可評価の地震動評価におきましては、第一波の評価対象領域や過去の被害地震を参照して検討用地震を選定しておりますので、
0:22:22	第2版を踏まえた影響というのを、以降確認をしていきます。
0:22:27	ここでプレート間地震につきましては内閣検討会によるモデルを検討用地震として選定しておまして、前期Aに対する検討の通り、第2版を踏まえた影響はございませんので、
0:22:38	以下では海洋プレート内地震の検討用地震の選定の影響を確認して、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:43	おります。
0:22:45	11 ページをお願いします。
0:22:50	まず、簡単に海洋プレート内地震の検討用地震の選定の起業者評価の流れをおさらいさせていただきます。
0:22:59	まず、敷地周辺で発生した被害地震、こちらは日本被害地震被害地震総覧等の知見を参照しておりますが、
0:23:06	この信用分布を、下の図の通り整理しております、敷地から信用距離が 200 キロ以内の地震についてリスト化した上、検討用地震の選定において考慮しております。
0:23:18	12 ページをお願いします。
0:23:22	検討地震は A とす。先ほどお話ししたようにリスト化した地震のうち、敷地で震度 5 弱程度以上と推定される地震について、ザーッと R 2006 による評価から、敷地に与える影響が大きい地震というのを選定しております。
0:23:38	下の図は、ときこ評価の選定のフローになります。
0:23:43	13 ページをお願いします。
0:23:48	次に、敷地周辺で発生した被害地震であったり、第一波の地震カタログを参照するとともに、地震発生様式の特徴を考慮して地震の諸元というのを設定した神田竹村 2013 等の知見も踏まえながら、
0:24:03	敷地で震度 5 弱程度以上をもたらした地震というのを選定をしました。
0:24:08	下はその敷地の震度 5 弱程度以上、
0:24:12	の、地震カタログ押せの諸元を整理したものになります。
0:24:19	14 ページをお願いします。
0:24:23	敷地で震度 500 程度というのを選定したもの以外にも、第 1 版の領域区分を踏まえまして、安芸灘伊予灘豊後水道領域 3、こちら伊方を含む領域ですけれどもこれ以外の領域で発生する地震につきましても、
0:24:38	同じく神田竹村 2013 等の知見を踏まえながら、地震の諸元を整理いたしました。
0:24:44	下の図は、東海、東南該当海域日向灘域へ出る領域 12 というふうに企業が評価で呼んでおりますけど、こちらの地震規模、諸元の整理になります。
0:24:56	15 ページをお願いします。
0:25:00	こちらは、同じ 9 領域 3 以外の領域、
0:25:04	として領域 4、九州中央部、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:08	の知見、地震の諸元の整理になります。
0:25:13	16 ページをお願いします。
0:25:18	このように検討地震押せの候補を選定してきたわけですが、まず、こちらの16 ページは安芸灘、伊予灘豊後水道域で発生した地震のうち、
0:25:28	敷地で震度5弱程度以上と考えられる海洋プレート内地震、そして結果的に3地震、
0:25:34	北野図の橙色で網かけしているものですが、こちらの3地震を、
0:25:40	領域さ、
0:25:41	として選定をしました。
0:25:44	17 ページをお願いします。
0:25:49	こちらは、安芸灘伊予灘豊後水道域領域3以外の領域で発生する地震について、具体的な領域1、2、4ですが、こちらについて選定した上で、
0:26:01	地震発生位置の不確かさを考慮し、具体的にはプレート状面等深線に沿って、震央位置をスライドさせた上で検討地震の候補として選定をしました。
0:26:11	例えば、下の図の領域2であれば、1769年M7.4という地震を等深線に沿って、領域2のは、江藤奥。
0:26:22	端っこ赤間で丸で囲ってます日向灘の浅い地震M7.4というふうに、発生位置の不確かさを考慮してスライドさせて、検討地震の候補として選定しております。
0:26:36	18 ページをお願いします。
0:26:40	このようにして突合6地震、領域3で3地震、領域124でそれぞれ1地震、合計6地震を検討地震の候補として選定したわけですが、
0:26:51	これらについて、ガードR2006によって応答スペクトルを評価した結果が下の図になります。
0:26:57	その結果伊方発電所を含む安芸灘伊予灘豊後水道域で発生する地震のうち、1649年安芸伊予の地震が敷地への影響が最も大きいということで検討地震として選定をしました。
0:27:12	19 ページをお願いします。
0:27:16	以上が、現状地震の選定の既許可評価の概要になりますが、ここから、第2版の表改定による影響を見ていきます。
0:27:27	まずは地震の再編、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:30	による影響です。
0:27:32	上の文章ですが、第2版で再編された地震はすべて既許可評価の検討用地震の選定過程において考慮しており、各領域において新たに考慮すべき被害地震がございません。
0:27:45	下の表が、第2版で再編された地震の既許可評価における考慮ですけれども、それぞれ、日向灘の1枚小さい地震、安芸灘伊予灘豊後水道域、
0:27:56	そうプレート内のやや深い地震、九州中央部それぞれ、右側に基礎評価における考慮ということで、いくつか理由を書いておりますが、例えば一番上であれば敷地からの震央距離が200キロより遠いとか、
0:28:09	あとは、リスト化した上で指揮し、震度が5弱程度未満であったりだとか、いずれにしても、エース第2版で再編された地震というのはすべて菊川評価において何らから考慮し、考慮した上で検討地震を選定して、
0:28:22	おります。
0:28:23	ので、上の文章に戻りますけど、新しく考慮する被害地震がございませんので、第2版の地震の再編を踏まえた影響はございません。
0:28:32	一応参考2として伊方発電所からの信用距離が200キロ以内で発生した被害地震としてリストアップした地震を、すべてお示ししております。
0:28:42	20ページをお願いします。
0:28:48	と次に評価対象領域の再編につきについてです。
0:28:52	大日本においては評価対象領域の区分が下の図の通り直されております。
0:28:58	灰色に記載しておりますのが既許可評価で考慮した領域区分、第1版と同じものになります。
0:29:05	これに対して、青、
0:29:07	の領域区分が第2版を踏まえた領域区分になります。
0:29:13	上の文章に戻りますが伊方発電所は、第2版においても領域3に属しておりますので、領域区分に大きな変更はございませんけれども、ご説明しました通り検討用地震の選定にあたっては、領域3以外の領域について、
0:29:27	地震の発生位置の不確かさを考慮して、
0:29:30	プレート状面等深線に沿って領域内でスライドさせて、座をによる評価を行っております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:36	衛藤ですので、下の図の通り確認をしましたけれども第2班における領域区分の見直しを踏まえても、領域に日向灘の浅い地震につきましては、
0:29:46	検討用地震の候補の位置に変更はございませんし、領域4につきましては現状地震の候補の位置というのは新しい評価対象領域を踏まえれば、やや敷地から遠ざかる方向というふうになりますので、
0:29:59	結果的に検討地震の選定、領域3の1649年安芸伊予の地震の影響が最も大きいと評価に変更はございません。
0:30:08	21ページをお願いします。
0:30:13	衛藤。こちら、小勝です。以上の通り、第2版において評価対象領域及び地震が再編されましたが、いずれも、下記の検量地震の選定フロー選定結果に及ぼす影響はございません。
0:30:26	具体的におさらいしますけれども、既許可評価におきましては敷地に影響を及ぼす地震のリストアップとして信用供与200キロ以内の地震を収集し震度5弱程度以上と推定される地震というのを候補として抽出しましたが、
0:30:40	檀班で再編された地震というのはすべて考慮済みでございまして当たら新たに考慮すべき被害地震はございません。
0:30:47	また、敷地に与える影響の比較として座による評価を行いました。評価対象領域形状の変更ですね、こちらの区分の変更再編を踏まえても、
0:30:58	1649年安芸伊予の地震の影響が最も大きいということに変わりはありません。
0:31:03	ですので、結果的に検討用地震の選定として、1649年安芸伊予の地震、敷地を含む領域で発生する地震が検討用地震として選ばれると。
0:31:13	ゆうこ評価に変更はございません。
0:31:17	22ページをお願いします。
0:31:20	あと最後不確実性を踏まえた評価に関する、伊方発電所への影響についてご説明します。
0:31:28	23ページをお願いします。
0:31:32	不確実性を踏まえた評価として、特に南西諸島海溝周辺において震源決定精度の問題があり、地震観測網の展開が不十分であった時期に発生した地震というのは、
0:31:44	発生様式を区別して評価するところが困難であるということ踏まえて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:49	日向灘域について、第1版ではプレート間地震が発生する領域と評価されていたところ、第2版では浅井地震はプレート間地震、海洋プレート内地震を区別せずに評価されております。
0:32:02	なお、こちらと同じですが南西諸島周辺域及び与那国島周辺域については、伊方発電所までの距離が遠く企業評価に影響をおよぼしません。
0:32:13	また、安芸灘伊予灘豊後水道。
0:32:16	伊方を含む領域ですね、こちらと九州中央部域は、既許可評価においては、海洋別内地震が発生する領域として検討地震の選定において考慮しているところ。
0:32:26	第2版においても、第一パンと同様に、海洋プレート内地震のみ発生する領域と評価されておりますので、こちらも既許可評価に影響をおよぼしません。
0:32:35	このために日向灘域で発生するプレート間地震及び海洋プレート内地震について、第2版を踏まえた伊方発電所の影響を確認をいたしました。
0:32:45	24ページをお願いします。
0:32:51	日向灘域につきましては先ほどまでもご説明しましたが既許可評価においてプレート間地震及び海洋プレート内地震の両方が発生することをすでに考慮しております。
0:33:02	具体的にはプレート間地震については、日向灘域でMw8.4の地震規模を想定した内閣検討会によるモデルを検討用地震と選定しております。
0:33:12	とともに、海洋プレート内地震については、日向灘域で発生した海洋プレート内地震のうち、最大規模である1769年の地震を検討用地震の候補として選定しておりますので、
0:33:24	こちら第2版を踏まえた影響はございません。
0:33:28	最後、なおということで第2版では、日向灘域のプレート間地震と海洋プレート内地震を区別しておりませんので、日向灘域でM8程度の海洋プレート内地震が発生するとも解釈されます。
0:33:40	しかしながら、第2版がその根拠としては1662年の日向灘の地震、M7.6というのはプレート間地震であるとともに、
0:33:48	日向灘域のプレート形状及び地震発生層厚さを踏まえれば、M8程度の海洋プレート内地震の発生というのは極めて考えがたいというふうに考えております。
0:33:58	それについてちょっと具体的に参考3としてまとめておりますので、ちょっと飛びますけれども35ページをお開きください。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:11	こちら参考資料 3、
0:34:14	そして日向灘域で発生するM8 程度の海洋プレート内地震について考察をしております。
0:34:19	35 ページは、まず第 2 版において日向灘の巨大地震の規模がM8 程度とする根拠についてお示ししております。
0:34:28	上の文章ですが第 2 版では、地震観測網の展開が不十分であった時期に発生した地震についてはプレート間地震及び海洋プレート内地震を区別して評価することが困難であるとして、
0:34:38	M8 程度の巨大地震は、それらをプレート間地震と海洋プレート内地震を区別せずに評価するとしております。
0:34:47	その上で、日向灘の巨大地震につきましては下の表、こちら第 2 版より抜粋してきてるものですが、1600 年以降、当該領域内のみを震源域とする巨大地震が発生したことは知られていないというふうにながらも、
0:35:01	1662 年の地震M7.6 について、I o k i えっとある 2020 の地形を引用しながら、日向灘の一回り小さい地震として評価したほかの地震に伴う津波に比べて大きかったということが指摘されているとして、
0:35:17	この地震が巨大地震であった可能性について言及し、次の地震の規模M8 程度としているというのが第 2 版の評価になります。
0:35:25	右側に、そのイオ系とある。
0:35:28	宇井大木さんの知見を持ってきておりますけれども、左下の図に示しております通りプレート境界の比較的浅部に断層モデルを設定しております。
0:35:39	36 ページをお願いします。
0:35:45	36 ページが具体的に引用されている有形とある 2020 こちら J P 自由の知見ですが、
0:35:52	いう形とあるは、南海トラフ西端部に位置する日向灘では、フィリピンかいプレートがユーラシアプレートの下に沈み込むため、M7 クラスのプレート境界型地震。
0:36:03	が引っくり返し発生している。そして、日向灘で発生した最大規模の地震である 1662 年日向灘地震において巨大津波が発生した可能性というのを考え、
0:36:14	断層モデルを用いたシミュレーション及び津波堆積物調査に基づいて、津波波源の推定を行った知見でございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:22	結論として、本研究で提案した 1662 年の地震の津波波源は、地球物理学的地質学的歴史記録的にもよく説明できるとし、
0:36:32	その用系とある 2020 の続報として、飯尾ほか 2020 というのを地震学会で発表しておりますけれども、こちらで大きな津波を発生させるにはプレート境界浅部の滑りが必要であると。
0:36:44	いうふうに結論づけております。
0:36:47	このように第 2 班が日向灘の巨大地震として M8 程度が想定されたとした根拠である同地震というのは、プレート間地震と考えられております。
0:36:57	なお、第 1 班におきましても同地震は、津波や地震動による被害の状況から洗髪 of プレート間地震であると推定されるというふうに評価をされております。
0:37:08	37 ページをお願いします。
0:37:12	しかしながらということで、同じ話ですが l i n e 版では日向灘ではプレート間地震と海洋プレート内地震を区別しないというふうに評価をされておりますので、
0:37:22	ここでは、日向灘域で M8 程度の海洋プレート内地震が発生し得るかということについて検討を加えてみました。
0:37:30	まず、日向灘周辺のフィリピン甲斐プレートの沈み込み形状を下の図に示しておりますけれども、第 2 版によれば、南東側というのはプレートが沈み込む前の比較的フラットな領域であるのに対して、
0:37:43	北西側というのはプレートが沈み込み始める領域にあることがわかります。
0:37:48	38 ページをお願いします。
0:37:53	こちらは日向灘周辺のプレートの沈み込み形状と地震発生層厚さについて地震後グラフィーから検討した廣瀬ほか 2007 の知見で、こちら結局評価でも引用した知見でございますが、
0:38:05	廣瀬ほか 2007 による検討から、もう日向灘域図でいうと測線の 20 から 25 というのが概ね対応しますけれども、南東側はプレートが沈み込む前の比較的フラットな領域。
0:38:18	北西側に進むにつれてプレートが沈み込み始める領域にあるということが読み取れます。
0:38:24	また、震源分布からは地震発生層というのはおおよそ 10 キロ程度、一部厚いところがありますけどそれでも 20 キロ程度であるということが読み取れます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:36	39 ページをお願いします。
0:38:39	こちらは、同じく広瀬他の 2007 の知見でちょっと該当部が拡大された図がございましたのでそちらを持ってきたものです。
0:38:48	同じく地震発生層厚さというのはおよそ 10 キロ程度、
0:38:51	一部厚いところで 20 キロ程度であるということがわかります。
0:38:56	40 ページをお願いします。
0:39:00	次に、こっちここでは M8。
0:39:03	Mw8 の海洋プレート内地震が日浦等で発生する場合に、こういった震源断層面というのが想定されるかと、いうのをスケーリング則の観点から検討してみました。
0:39:14	具体的には、海洋プレート内地震のスケーリング則に関する知見である Strasser へとある。
0:39:20	これはこれ、下の図は結局評価の図を持ってきておりました既往の評価でも使った知見ですけれども、これの Strasser ネット R による地震規模 Mw に対する長さ L 幅 W のそれぞれの関係式を用いて、
0:39:35	震源断層面というのを検討してみました。
0:39:38	41 ページをお願いします。
0:39:44	Strasser ネットある 2010 の関係式から、Mw8.0 の海洋プレート内地震の断層面というのは長さ約 140 キロ幅約 62 キロというふうになります。
0:39:56	これを踏まえれば、地震発生層がおおよそ 10 キロ程度厚いところでも 20 キロ程度である日向灘域において、広角に幅約 62 キロ断層というのは設定できません。
0:40:08	またプレート形状が比較的フラットな領域に置いて低角の断層というのを想定する場合であっても、海溝軸に平行した長さ 140 キロ幅 62 キロの震源断層というのは、
0:40:19	日向灘の領域を超えるような大きさというのを設定することになります。
0:40:25	このように、日向灘域のプレート形状及び地震発生層厚さというのを踏まえれば、M8 程度の海洋プレート内地震の発生というのは極めて考えがたいというふうに考えております。
0:40:38	ページ戻りまして 24 ページをお願いします。
0:40:50	以上参考 3、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:52	でご説明しましたけれども、一番最後の文章の絵です。これらを踏まえれば、日向灘域において発生するM8程度の巨大地震の発生様式というのはプレート間地震であるというふうに考えられ、
0:41:05	その影響については、前期Aに対する検討の通りであって、第2版を踏まえた影響はございません。
0:41:13	最後までになります 26 ページをお願いします。
0:41:19	下記の通り、第2版を踏まえても伊方発電所の地震動津波に係る幾何評価への影響がないことを確認をいたしました。少しおさらいさせていただきます。最新の知見を踏まえた地震の再評価、M8程度の巨大地震の発生可能性を評価というところに関しては、
0:41:35	プレート間地震の既許可評価では内閣府の南海トラフの巨大地震の震源断層モデルM9クラスを用いておりまして、その中で日向灘域ではすでにM8以上の地震規模を想定して地震動、津波それぞれの評価を実施しておりますので、
0:41:49	第2版を踏まえた影響はございません。
0:41:52	二つ目、評価対象領域地震の再編についてですが、基本評価の海洋プレート内地震の検討用地震の選定について、再編された地震というのはすべて聞く場評価の検量地震の選定過程において考慮しており、
0:42:05	新たに考慮すべき被害地震というのはなく、また評価対象領域の再編を踏まえても、敷地に最も影響の大きい海洋プレート内地震は1649年安芸伊予の地震であるとの評価に変更はございませんので、第2版を踏まえた影響はありません。
0:42:19	三つ目、不確実性を踏まえた評価として、浅井地震はプレート間地震及び海洋プレート内地震を区別せずに評価したというところですが、
0:42:28	既許可評価において日向灘域でプレート間地震及び海洋プレート内地震の両方が発生するというのをすでに考慮しておりまして、プレート間地震については、日向灘域でMw8.4の地震規模を想定したモデルというのを検討用地震として選定しており、
0:42:43	海洋プレート内地震については、日向灘域で発生した海洋プレート内地震のうち、最大規模である1769年の地震というのを候補として選定しておりますので、第2版を踏まえた影響はございません。
0:42:55	最後なお、第2版によれば、日向灘域でM8程度の海洋プレート内地震が発生すると解釈されますが、第2班がその根拠とした知見であったり、日向灘駅のプレート形状及び地震発生層厚さを踏まえれば、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:08	日向灘域において発生するM8程度の巨大地震とプレート間地震であると考えられますので、その影響については前期に対する検討の通りであり、第2版を踏まえた影響はございません。
0:43:21	すいません長くなりましたけど資料2については以上です。
0:43:25	はい、ありがとうございました。そうしましたら、規制庁側から確認したい事項等あればお願いします。
0:43:37	規制庁の仲村ですけども、まず
0:43:40	初めの安定性評価の方ですねちょっと何点か確認させてください。で、資料頭からですけども資料1の、
0:43:49	まず5ページですね。
0:43:52	ちょっとこれは、への説明への確認ですけども、
0:43:57	5ページの絵が真ん中ぐらいあって、重油移送配管っていうのが、こう書かれてるんですけどその上の方ってこれ、途切れてるような感じになってるんですけど、これで、
0:44:08	図として合ってるんですけど。
0:44:12	はい。四国電力シモグチと申します。図として合っておりますというのも、重油移送配管は10円盤に出てきたところで実際に途切れておまして、ここに非常用の車両がついて、油を移し替えるという運用のために、
0:44:25	そのような形となっておりますと聞いております。
0:44:29	以上です。
0:44:30	はい。じゃあ、6ページの軽油移送配管っていうのも、
0:44:35	おなじってことでいいんですね。
0:44:37	そうです。はい、わかりました。これは確認だけですんで、続いて、
0:44:44	19ページなんですけども、今回いろんな解析とかそういうところで、
0:44:51	許可の、
0:44:53	やつと全く一緒にしてるっていうことで確認はしてるんですけども、この19ページのところで、
0:45:00	ちょっとこう説明があった方がいいのかなと思ったのが、XとAの断面示してるんですけど直交する断面が書かれてないじゃないですか。で、
0:45:11	要するに例えば原子炉建屋のところで、XXがあってそれと直交する断面があるんですけども、それは
0:45:20	評価上、既許可のときに落としてますよね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:25	××等、こうに代表されるって、なんかそういうのがちょっとこう言葉だけでもいいんであった方が、何か抜け、既許可のやつをどう比べたらわかるんですけども、ちょっとこう、
0:45:40	この資料だけ見てると、何か見落としみたいに見えちゃうんで、
0:45:44	もしあれだったら入れたらどうかなと思うんですけども、いかがですか。
0:45:50	はい、四国電力シモグチです。ご指摘の通りそうですね最初の結果はその通りなんですけど、途中直行断面なんかも、簡便法で落としているという経緯を、これだけ見たらわからない人も出てくると思うので、
0:46:02	言葉で補足しようと思います。ありがとうございます。はい。
0:46:05	ずっとばに入れる必要はない、誤解を受けるんで必要ないと思うんですけど、文章的にそういうふうなことをしてるっていうのがあった方が、この資料としてはわかりやすいかなと。
0:46:16	あと、続いて 38 ページですね。
0:46:22	解析を総分割図があって、ちょっとこれは確認ですけども、タイトルのところ原子炉建屋と海水ピットってあって、
0:46:32	左上の、
0:46:36	断面位置図っていうのがあるんですけど、これは回数、C C 断面の方ですけど、
0:46:42	緊対所もメインで入れてるというわけではないんですか。今何かこのタイトルからタイトルと図からいくと、海水ピットってなってるんですけども、
0:46:54	緊対所の方はあんまりこう、
0:46:57	何か入れタイトルとして入れないのかなっていうのと、逆に数 38 ページの下のメッシュ図見ると、緊対所は書いてるんだけど、排水ピットっていうのが書かれてなくて、
0:47:10	どっちがメインとか何かそういうのがあるのかなと思って。
0:47:14	すいませんちょっとつまらんとこですけど。
0:47:21	はい。四国電力シモグチです。はいここですねちょっといろいろ経緯がありまして、先に作っていった緊急時対策所の、その斜め断面 C C 断面というのを活用しようということに当時なりました。
0:47:33	これはあくまでも海水ピットが主語で、その背後斜面をモデル化したいので、日本語としては海水ピットというのが出てくるのが、数字かと思えます。その上で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:45	海水ピットがモデルの欄や何かというのはその通りでして、モデルのサイズに比べて、
0:47:51	非常に小さいということと、あと地盤を掘り込む格好になるので、掘り込まない重い岩盤をモデルとして残しておいた方が、マスとして残しておいたほうが慣性力として、応答として、
0:48:04	大きくなるんじゃないかということで、緊待所のモデルを流用でことさらに海水ピットは掘り下げてモデル化しないということで当時、このモデルを活用するということでご理解をいただいたというふうに記憶しております。
0:48:19	以上です。それは、
0:48:21	例えばですけど、大変 38 ページの右下の図で、茶色のところに歯が海水ピット。
0:48:30	が来るんですかね。
0:48:34	何かこう、吹き出しの文字だけでも何かあった方がいいかなと思ったんですけど、それもない方がいいんですか。
0:48:43	四国電力シモグチです。ご指摘の通り、1 についてはここにありますよというのを付記すると、いうことができようかと思います。その代わり、左下に
0:48:54	丸々何日より抜粋という日本語は、付けられなくなるので一部修正とか、そういう形で排水ピットの位置をマーキングしようかなというふうに思いました。以上です。
0:49:06	はい。ちょっと検討をお願いします。
0:49:09	あとは、
0:49:14	とまず私からはそれだけですな、
0:49:19	とりあえず、資料 1 については以上です。
0:49:28	規制庁の松江です。
0:49:31	結局後を評価、
0:49:35	解析断面とかそういうものは同じだというご説明なんですけれども、
0:49:43	周辺斜面の安定性評価は、いきなり解析断面に入ってるので、
0:49:48	斜面選定がどっかちょっと
0:49:53	結果とかそういう図面とか説明とか入れていただけませんかでしょうか。
0:50:03	はい。四国電力シモグチです。先ほど仲村さんから 1 時間のときにも、直交断面を落としたことを、文章なんかで一言入れたらと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:12	というのが5 斜面番のご指摘かなと思い、コメントかなと思いましたが、
0:50:17	そうですね、評価対象とした斜面はここで、
0:50:21	こうこうこういう経緯で解析対象断面まで絞りましたよというような趣旨を、文章プラス、斜面ですから、
0:50:29	平面図もあった方がいいのかな。ちょっと補足を考えてみようかなと思いました。はい。
0:50:35	以上、よろしくお願いいたします。以上です。
0:50:42	佐藤ですけど。
0:50:43	えっとね、
0:50:47	13 ページか。
0:50:50	一番下の箱。
0:50:53	解析用物性値とか、許可と云々ですね、許可と同様にしたって一番下の箱に書いてますけど、これ、ここに書くんじゃないで、
0:51:04	これは多分、14 ページ以降に書くんだろうなと思うんだけど、
0:51:10	ここには書くんじゃないよね多分ね。
0:51:13	と思いますけどどうですか。
0:51:17	解析の方針、結構四国電力中国支社内でも2回3回ちょっと場所変わってまして、評価方法を説明した後に説明するのがいいよねというのが多分今の佐藤さんのご意見だと思いますと。
0:51:31	一方で、
0:51:32	地震動は変わりました。それ以外は変わってませんというときには地震動の直後におった方がいいかなということで今、ここにおるんですが、
0:51:41	そうですね、解析を物性値か。
0:51:46	もしくは17 ページの評価方法、
0:51:49	のイントロにいてもいいかなという意見もあります。
0:51:54	ありますというのがちょっとコメントでどうしますというのがちょっとすぐ言えない。任せますけどね。
0:51:59	多分収まりはここではないような気がするんだけど、評価方針全体の評価方針として、
0:52:07	評価ではこうこうこうだったんだけど今回も同じ方針でやりますっていうその、
0:52:12	大きなその方針のところはやっぱりその、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:16	次の章に書いてもらうべきなんじゃないかなっていう気がしました。はい。四国電力島津です。コメント踏まえて検討しますけども。はい。
0:52:24	あともう1点ね34ページなんですけど、地殻変動による影響評価ってこれってあれでしたっけ。
0:52:31	既許可の再掲になるの。
0:52:35	今回草間さんがいるのかなっていう話もあるんだけど、
0:52:41	入れるんだったら入れてもいいけどこれ再掲にしかならないんじゃないかなあ。
0:52:47	そこだけちょっと教えてください。四国電力シモグチです持ってる情報量としてはおっしゃった通りこれも再掲なんですよ。ただ、
0:52:55	何て言うんすかねデービーS A監視機を同じレイヤーで初めて変えたのは今回が初めてですと。で、そもそも今回要るんかとおっしゃってましたが、
0:53:05	ソーナンス波依存性がない評価なので、波の追加を踏まえてもなくていいページだとは思いますが、いわゆる基礎地盤のワンシーズンその滑り、
0:53:15	傾斜、接地圧そして変状が、ワンセットで言った方がいいかなという思いで載せました。
0:53:22	波依存性がないからなくてもいいじゃないかということであれば、社内でもう1回検討してみようかなと思っておるんですが、
0:53:30	何か追加ございますか。一応今回そのままフルスペックで入れたいという話であれば別に入れてもいいんだけど、そうしたらこれ、データとしては再掲ですってということがわかるように書いてもらえれば、
0:53:43	いいと思うし、
0:53:46	入れるか入れないかも任せますけどね。
0:53:49	はい。市、四国電力シモグチ住まいれるとした場合は、新たな評価じゃないよと、再掲の集まりだよということがわかるように、表現は工夫したいと思います。ありがとうございます。
0:54:00	あと最後ですけどこれ47ページ、まとめの後に、
0:54:04	今後その再補正するにあたって、清岡の評価結果も入れますよというお話がありましたけども、
0:54:12	これもまとめっちゃうかこれもあれですかね後の3、3項、
0:54:18	程度に入るのかな。
0:54:30	今回はそのS sさんの話になるので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:36	これ三、四十名で入れても何かあってもなくてもいいんだけど別に、
0:54:41	結局後のこの図、別紙時以降に書いてるわけでしょこれ結果。
0:54:52	多分今回の評価はSSさんでやっても、
0:54:56	評価に影響はしませんっていうのが結論なんだよね多分ね。
0:55:03	聞こえてますか。
0:55:06	四国電力シモグチですちょっと今
0:55:09	中で相談をしておりますして15秒ほどちょっとお時間いただけますじゃいいです。どうぞ。
0:55:44	別に即答してもらわなくてもいいですよ。
0:55:50	四国電力大野です。ご指摘というかコメントいただいた趣旨としましては、47ページも含めて、48ページ以降と同じように、別紙(1)で整理した方がいいのではないかという意図だと思いますので、
0:56:05	そのような整理させていただこうかなと思ってございます。私の理解でも46ページが結論なんだよねこれね。
0:56:15	結局今回のS s - 3 - 3を考慮してもですね、一応MAXのものにはなりませんっていうそれだけの話だと思うんだけどね。違いますか。
0:56:26	はい。その通りです。48ページ以降が申請書載るという意味でですね、こちらも示しておきたいなという意図でしたので、はい。47ページを40。47ページ以降、別紙として整理させていただきます。
0:56:43	お任せしますけど、私から以上です。
0:56:49	他にありますか。
0:56:55	すみません規制庁の三井ですけれどちょっと1点だけすみませんさっきお話あった13ページのところで、これまでのその解析条件が、
0:57:03	既許可と同様ですよって書いてあるんですけどこれ既許可と同様としたって書いてあるんですけど、この許可じゃないと出てこない条件ってのはあるんですか。
0:57:14	四国電力シモグチですあるんです。というのも
0:57:18	再稼働の頃は、
0:57:20	許可設備、設工認の審査で地盤というのは事実上再計算しなかったんですが、
0:57:26	60以降に特集以降に新設スルーやつは、
0:57:31	設工認でも地盤安定性評価をやり直してねというご指示をちょうだいしたんですよ。なので、特重施設と、今回の資料でいくと乾式施設、10月は、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:42	それぞれの施設の既許可降に、認可の断面でモデリング再度やれ、直させられて、再計算してるんです。なので、最新の許認可は何って聞かれたら、乾式については認可になるんです。
0:57:56	なので認可という表現を使わないと嘘になるなということで、こういう記載にしています。以上です。
0:58:05	すいません趣旨はわかりましたけどそうするとここ2期掲載されてる解析の
0:58:11	モデルとカッチゅうのは
0:58:14	認可のときのモデルが載ってるカッチゅうことですか。
0:58:18	はい。四国電力、下口ですはい。その通りでそのことを明示しています。19ページと20ページの四つのモデルをそれぞれ見比べていただいたらわかるんですけど、
0:58:30	19ページと20ページの三つ目までは、C、平成27年3月13日審査会合資料抜粋ということで、
0:58:38	設置許可の最終審査会を、
0:58:40	20ページが一番下、乾式については、今申した通り設工認が最新なので、それを抜粋と、
0:58:47	いうふうに、明示しております。
0:58:59	すいません趣旨わかりました等ございますはい。
0:59:04	他にありますか。
0:59:07	なければですね私からも先ほど出ましたけれども5ポチのね、周辺地盤の変状とかですね地殻変動の話は
0:59:17	これ申請書の扱いはどうなってるんですかね。
0:59:28	シモグチでちょっとお待ちください。
1:00:12	ごめんなさいお待たせしました四国電力シモグチです。
1:00:16	そうですね申請書では変更がないところってのはことさらに記載して、
1:00:22	ないと思います。すなわち、
1:00:25	いらんやないかということになるんじゃないかと今思い直したところですよ。おっしゃる通りですね多分申請に出てこないんじゃないかという理解をしているので、そうするともうここは、
1:00:35	どっちでもいいよって話ありましたけど私はむしろないほうがいいんじゃないかなと。むしろ、今回の時に基準地震動の変更でなぜこれが出てくるのかというのがちょっと不明確な気がしますんでですね、一応再度確認していただけないんだったら、取っていただくか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:49	もしくは最後の方にね、さっきのまとめ的ななんていうんすかね、S A Sさんの変更に伴う評価結果以外のところで、申請書最後こうなるってところにもし入るんだったら、そっちに入れていただいてもいいのかもしれないけど、そこは考えてみてください。
1:01:05	はい。四国電四国電力シモグチです申請書との整合の観点から再チェックして、表現を直したいと思います。はいどうぞよろしく申し上げます。あと資料2の方ですね。
1:01:15	あと2点ばかり聞きたいんですが20ページなんですが、
1:01:21	今回第2版を踏まえた領域区分の変更というのがあって、領域の2と3についてはですね、それぞれ移していただいた場所が、グレーで示されていて、
1:01:33	領域4についてはですね少し場所が変わりましたということでポインターがずれてるんですけども、そもそもここにですね領域3の一番大きいものってのは、
1:01:44	甲斐書いたほうがわかりやすすくないですかっていうそこだけなんですけど。
1:01:49	四国電力の塩田です。そうですね。17ページに領域3の、
1:01:56	検討地震の項の1を図示しておりますので、
1:02:01	確かに比較の観点であった方がいいような気がするのでごめんなさい。追加させていただきます。
1:02:06	スライドさせたのは領域2と4の地震だということで書かせていただいているだけなので、そこは結局一番厳しいの領域3のところなんですが一番厳しいですよっていうものが見えた方がですね、市関係から見てもよくわかるんじゃないかなというそういう趣旨でございます。わかりました。はい。
1:02:23	承知いたしました。あとこれは皆さんの考え方なんですけど、26ページのところのね、先ほど別紙、参考3でも説明をいただいたところなんですけど、これ今回プレート間地震とプレート内地震はですね区別せずにM8クラスということになってるんですけども、その際にこの26ページのなお以下、
1:02:42	っていうのは皆さんはこう考えましたんで一応整理をしてみましたという理解でよろしいんですね特にプレート間地震じゃないすみませんプレート内地震をですね特化して、
1:02:52	M8を見るというような中身は確か私はなっていないという理解だったんですけども。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:58	四国電力の正田ですおっしゃる通りです。ちょっと特化している8スラブ内容見なさいということではないので、なおかつについても、このCポツ言った上の一つ目の、
1:03:10	チェックの文章と比べたら位置付けとして落ちるものかなというふうに考えております。以上です。はい。わかりました一応丁寧に、
1:03:19	これも本当に要らないんだよねという説明を一応四国電力としてはしてみましたとそういう理解でよろしいですね。
1:03:26	はい。その理解で結構です。
1:03:29	はい、わかりました。それでですね、今のじゃないすかね今後の予定なんですけれども特重の方って今進捗状況から見てですねいつぐらいにお話を聞けそうですか。
1:03:43	はい、四国電力をオオノず、4月15日の時点ではですね6ヶ月後に独自の解析が終わると説明させていただきました。ですので10月中旬と説明させていただいたんですが、
1:03:55	少し前巻いて、解析ができておりますので、9月中中旬頃には解析が終わるかなと。失礼しました9月中には終わるかなというふうには思っています。
1:04:08	はい。じゃあこの間聞いていたオオノ1は方法一緒ってことですね。了解しました。それでせっかくな、まずはDDSやっていただいたんでこれはもう審査会後に、
1:04:21	一応説明してもらった方がいいと思うんですが、
1:04:24	例えばですが、
1:04:25	ちょっと直近で早いんですけれども、来週の9日ってのはできますそうですか。
1:04:32	少々お待ちください。
1:04:58	四国電力シモグチ今ちょっと幹部職員の、
1:05:02	幹部職員のスケジュールを確認中なんすけど変更、並行して、
1:05:06	資料の事前提出って、今回いただいたお直しを含めていつごろまでっていうイメージですか。
1:05:13	今日は来週の月曜日とか電話いただけますか。
1:05:20	はい、四国電力シモグチですスケジュールリングとは別に今言った事前提出のことは、対応できる。
1:05:27	と思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:29	と、ちょっと今平行して幹部職員のスケジュールを確認中ですので、もうちょっとお待ちいただいていいですか。はい、了解しました。
1:05:56	すみません佐藤ですけどさっき私、ちょっと言いそびれて資料2の方は、
1:06:01	刀禰さっきの岩田からもあったんですけどなお書きのところで、なお書きのところはね、これ、何か蛇足っていうような気がするんだけど。
1:06:10	入りますか。入りますか。
1:06:14	入りますか。
1:06:16	はい。サンコーさん、綾部です。
1:06:19	サンコーさんも私いるかなというふうな、なんかは、これ個人的な感想ですみません。
1:06:25	えっとですね
1:06:27	第2版を踏まえた評価ということで何て言うのかな、ちょっと解釈できる限りは、何か評価しなきゃで審査していただかなきゃいけないんでまたI o k i から持ってきてんのは気に入らないんだけどね。
1:06:41	猪木の繋ぎ沖野さあめちゃんの津波評価から持ってきてるロジックが見られんだけど、
1:06:50	しかもG T Gいうのはアンカー値と反省としてこんなやつなんか、
1:06:54	っていうのは気に入らないなっていうふうに思っはいるんだけど、それは私たちもちょっと同じようにちょっとこれを窒化を根拠にするのはどうかなと思いながら、
1:07:04	第2班がですね、ちょっと思っだそうさそくうと言われたら、蛇足な。
1:07:10	蛇足というか、そこまで言わなきゃいけないのかというところがちょっと正直なところあるところですよってプレート間とかプレートは含めて区別せずにとって言ってるわけだからね別に何か。
1:07:21	神尾プレート内にフォーカスを当てる必要性も何かあまりないような私は気をするんだけど、そういう意味でこの26ページのまとめのなお若菜り書くかどうかをそもそも迷って書いたのでちょっとこのなお書きは、
1:07:35	上のBとの平仄を合わせる観点からここは消してもいいかなというふうになんか今思ってるところですね。その上に、
1:07:43	参考資料3というのも、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:48	あと、そうですねだ蛇足というか、しあまりし、一生懸命しゃべらなくてもいいというようなふうにも思い始めましたけど何か次、コメントということですが、まさにその通りですね、先ほど申し上げた通りこれは一応、
1:08:02	四国電力さんとしてはここまで見ましたよということなので、この日本語見てもね、第2版はやはりタイププレート間とプレートのみぜこぜで8みてりゃいいですよっていうもう世界の話なんですね。
1:08:14	ここまで書かなくてもいいんじゃないかっていうことと逆にこれを書くことによってね、今我々ヒアリングで聞いている中では気にはなりませんけれどもその程度の位置付けだなということで気にはならないんですけども、ただこれ表に出した時に、
1:08:27	議論を呼ぶ可能性っちゃうのは否定はできないので、私はむしろ英断をされるのであればなくしてしまった方がいいんじゃないかと思います。
1:08:37	四国電力の集団です。ありがとうございます我々としてもここはかなり、ちょっとどう、どうすべきかと思ってるので、参考資料5とちょっともうなくしておっしゃる通り、
1:08:47	みぜこぜにしてどう両方でも始めなさいという記載ではないと我々も思ってますので、す、削除させていただく方向で調整したいと思います。以上です。はい。岩田ですありがとうございます了解しました。
1:09:12	あとはスケジュールですか。
1:09:20	四国電力の井坂です。9月9日はちょっと予想しなかったんですけど、いけそうなので、ちょっと最終じゃないですけどその方向で、早急に調整いたします。よろしく申し上げます。はい。規制庁井形です。了解しましたの。
1:09:35	後で事務的にご連絡をいただければと思いますのでよろしく申し上げます。あと説明は1度に合わせて30分ぐらいでよろしいですか。
1:09:44	シモグチですはい30分いただければ十分です。はい。一応9月9日ということですね考えておきたいと思いますのでスケジュールが確定したらお知らせをいただきたいと思います。
1:09:55	規制庁が大体そんなところですが、四国電力から何かございますか。
1:10:03	はい。四国電力の井坂です。特にございません。どうもありがとうございます。はい、じゃあ以上にしたいと思いますお疲れ様でしたありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。